

年頭の あいさつ



豊山町議会議長

水野 晃

新年明けましておめでとうございます。新春にあたり、町民の皆様がご健勝で新しい年を迎えられましたことに心からお慶び申し上げます。

昨年は一昨年に引き続き、コロナ禍により、大変辛い生活を余儀なくされました。今年こそコロナが終息することを祈っております。

また自然災害では、猛暑、地震、集中豪雨など、日本各地に猛威をふるい、大きな被害をもたらした年となりました。

本町におきましては、大規模災害に備えた町づくりに取り組んでおります。

愛知県は名古屋空港北西部「豊山町青山地区」に「基幹的広域防災拠点」の整備を進めております。また、町は「避難所、賑わい施設等」の整備を検討しております。今後も、町の活性化に向けた取り組みを継続していく必要があります。

少子・高齢化が進む中、本町に住みたい、住み続けたいと思う町に向け、議会としても全力で取り組んでまいります。

また、開かれた議会を目指し、議会中継（録画配信）を9月から行うための取り組みを進めております。

町民の皆様の目に見える、わかりやすい議会を目指してまいりますので、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、より良い年になりますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和四年元旦

新春を 迎えて



愛知県知事

大村 秀章

あけましておめでとうございます。

昨年は、オール愛知で一丸となつて、新型コロナウイルス感染症の「克服」に向けた取組を進めるとともに、ジブリパークの整備推進、愛知県新体育館、スタートアップ支援拠点「STARTUPION Aichi」の整備着手など、感染症克服後を見据え、愛知を「前進」させた1年となりました。

世界は、グローバル化の進展やそれに伴う感染症リスクの増大、デジタル技術の急速な発展など、加速度的な変化を遂げています。今後も、愛知が日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードしていくためには、変化に対応し、イノベーションを巻き起こしていかなければなりません。

今年も、国内外の優れたスタートアップと地域のモノづくり企業とのオープンイノベーションにより、イノベーションが次々と創出される、愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、海外先進地域との連携を深め、世界に例を見ないグローバルなイノベーション創出拠点の形成を目指します。

また、リニア開業を見据えた社会基盤整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉・環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上にも取り組んでまいります。

今年7月には、国際芸術祭「あいち2022」を開催します。秋には、ジブリパークの「青春の丘エリア」「ジブリの大倉庫エリア」「どんどこ森エリア」が開業します。愛知の魅力を高める取組も着実に進めてまいります。

愛知県は今年、1872（明治5）年の誕生から150周年を迎えます。県民の皆様に、将来も愛知県に住み続けたいと思っただけできるよう、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

二〇二二年元旦